

## 平成26年度 川崎市地域自立支援協議会専門部会について

### ○相談支援部会について

相談支援従事者研修については、市独自研修を含めて体系立てて今年度より本格実施したばかりです。研修を実施したことにより、各研修における課題が明らかとなってきました。今年度を実施した内容が適切であったのかどうか、どのような人材を育成するのか、その人材を育成するためにはどのような方法でどのような内容の研修が必要となるかという根本的な議論を今後も重ねる必要があります。今後は、各研修の企画・検討と同時にこのような人材育成の方向性についても議論をし、一定の方針をまとめていくことが必要です。そのためには、「(仮称)研修部会」として、相談支援部会から独立させて設置することが必要であると考えられます。

また、相談支援ガイドブックは、相談支援に初めて従事する人が、相談支援の基本を押さえながら支援のイメージを膨らませることや、経験年数を重ねた相談員が、支援の現場で迷いが生じたときに立ち返ること等を期待して作成いたしました。来年度以降、実際に現場でガイドブックを活用しながら、さらに必要な項目、内容などを考えていくこととなります。

現在、相談支援においては、質の向上と数量的な拡大が同時に求められています。特に計画相談支援の対象者拡大への対応は急務であり、経過措置期間は残り1年となりました。平成27年4月以降、原則としてすべての福祉サービス等の申請者は、支給決定を受けるにあたりサービス等利用計画(案)の作成が必要となります。計画相談支援拡大に向けた体制整備を行い、数量的な拡大を図る一方、質の確保も重要な課題です。

こうしたことから、平成26年度は「相談支援部会」と「(仮称)研修部会」をそれぞれ独立した専門部会として設置したいと考えます。

「(仮称)研修部会」においては、相談支援従事者研修等による人材の育成のあり方の検討を含めた研修の充実を核に、連絡会議等で実施されてきた広く関係者、市民なども対象とした研修の実施についても検討していきます。

「相談支援部会」では、ガイドブックの活用や相談支援事業に係る質の評価等による相談支援の質的な向上に向けた、さまざまな課題に取り組む必要があります。双方の部会は、「相談支援の質の向上」と「暮らしやすい社会づくり」という自立支援協議会の本来的な役割を十分に認識し、連携しながらすすめていくこととなります。

## ○こども部会について

こども部会は、平成24年度に設置して以降、「相談がどこへ行っても進まないで途切れてしまう。」「どこに相談すればいいのか分からない。」といった声を基に、相談体制に関する課題を中心に、全市的に課題の抽出や検討を行いました。平成25年度においては、当該課題整理の内容を踏まえて、相談体制に関する課題に対して議論をし、「今ある資源をいかに広報するか」について検討し、こども部会の広報物を作成しました。平成26年度以降については、当該広報物の活用状況を追跡する必要があります。

また、発達段階で切れない支援を行えるように本人又は家族が作成する「サポートノート」についても、引き続き検討が求められます。現在療育センターで試行が行われていますが、療育センター内での進級、さらに卒園、入学と、様々なライフステージの変化に直面する子ども達は継続的な支援が求められます。この期間の、ノートのページに対する意見、広報に対する意見又は使い方等の説明に対する意見等の様々な角度からの声を生かして、サポートノート本体が独り歩きせず有効に活用されるものとなるように、長期的な検討が必要です。

さらに、今回は、約2年間かけて相談体制に関する課題に取り組んでまいりましたが、その間にも、各区の代表者で構成された「課題整理ワーキンググループ」を中心に、障害児をとりまく多岐にわたる課題が集約されています。これについても支援の現場で起きる地域の課題として受け止め、専門部会の中で議論していく必要があると捉えております。

以上3点から、平成26年度においても、川崎市の専門部会としてこども部会を構成する必要があると考えます。

## 平成26年度 ワーキングについて

### ○課題整理ワーキング

- 1、今年度の課題整理ワーキングと市自立支援協議会事務局会議で提出されたものから、第4次ノーマライゼーションプランへの意見具申として、項目ごとにチームを作り、意見具申書を作成します。  
項目としては、入浴、ショートステイ、ナイトケア、送迎が挙げられています。次年度にむけて、再確認しながら進めていきます。
- 2、意見具申書提出後の8月以降は、防災についても各区で情報交換を進められるような機会を設けていきます。

### ○広報ワーキング

- 1、各区の広報担当が集まり各区の広報に関する状況を情報共有する場として継続します。特にホームページの立ち上げに関わる内容等を意見交換していきます。
- 2、作成したリーフレットについて配布はしていきませんが、協議会の存在が伝わっているかの検証ができると尚良いと考えています。保管・増刷等の検討も予定しています。
- 3、開催頻度については、今後検討します。

### ○連絡会議ワーキング

- 1、昨年度、準備期間の短さが課題に挙げたことから、次年度は年3回の企画としていきます。
- 2、テーマについては、昨年度のアンケートで多数声がありながらも、取り上げる事の出来なかったもの（就労、罪を犯した方の支援、地域移行等）を中心にしていきます。また前年度も取り入れましたが、当事者と支援者（相談支援従事者等）が同時に壇上に立ち、それぞれの立場で一つのテーマを話し、当事者が自身に行われた支援の評価をする場としていきます。それを通じて、相談支援等の技術が向上できるような内容としていきます。
- 3、このほか、来年度緊急的、または話題となるようなテーマがあれば、年1回程度「研究セミナー」として取り上げていきます。